

福祉への理解を進めよう！

福祉のことを誰もがよく知ることができるよう、情報提供を充実します。また、福祉を体験できる機会を設けるとともに、福祉ボランティアの活動活発化に向けた支援を強化します。

※【凡例】*関連事業* ●:新規 ○:継続 ▲:一部着手 ×:未着手 *評価* A:進展 B:一部進展 C:未進展



3・1

3・2

3・3

活動目標（活動方針）	社会福祉協議会が行うこと			特に進んだこと 平成 27 年～31 年度	一緒に進めた人	方向性
	推進活動	*関連事業*	*評価*			
<p>福祉情報の発信</p>  <p><住民や地域が行うこと> ▶（町役場や社会福祉協議会の）福祉情報誌や回覧に目を通す。 ▶地区や町域の行事や講座に参加し福祉情報を得る。 ▶欲しい福祉情報を情報提供機関に伝える。</p>	<p>①広報誌やホームページの充実 広報誌の発行を継続するとともに、ホームページ内容の見直しを行います。制度やサービス等の福祉情報の提供だけでなく、日常的な社協事業や地区の福祉活動、福祉団体の活動状況等の情報発信を行い、地域や社協活動への理解を図ります。</p> <p>②行政と連携した効果的な情報提供 地域福祉センター以外の公共施設での情報発信や行事イベントの場の活用や参画により、福祉情報の発信に努めます。</p> <p>③地区と連携した情報発信 地区内の民生委員・福祉活動員・自治会（町内会）等の地域内のつながりによる口コミや回覧等による福祉情報の提供とその浸透に努めます。また、地区の交流活動の場へ出向いた福祉活動や制度情報の発信に努めます。</p>	<p>●社協だより・ホームページの充実</p> <p>▲町立図書館やグラウンドゴルフ場等での福祉情報発信 ▲町行事への参画による情報発信</p> <p>▲地区会合や活動への参加</p>	<p>① A 進展</p> <p>② B 一部進展</p> <p>③ B 一部進展</p>	<p>▶ホームページのリニューアル 平成 28 年 5 月に町社協ホームページをリニューアル。内容の充実と機能強化を図り、住民福祉活動や社協事業をリアルタイムに発信した。28 年 6 月に Facebook 運用開始。 ▶発信回数：H28-51 回→H30-131 回。</p> <p>▶公共施設への福祉情報ブースの設置 平成 31 年度（令和元年 9 月）から町立図書館や中央公民館へ専用ブースを設置。町内の福祉活動の発信やボランティア募集を行う。また、継続して町広報誌への折込や、町行事（いきいき広場）へ参加し情報発信を行う。</p> <p>▶地区交流活動への訪問強化 平成 28 年度から町社協の介護支援専門員を含めた地域交流活動への訪問を開始。町内の福祉活動や介護情報の発信、制度説明等を行う。</p>	<p>社協</p> <p>行政 社協</p> <p>社協</p>	
<p>福祉を学ぶ（感じる）場づくり</p>  <p><住民や地域が行うこと> ▶地区での学習の機会をつくる。 ▶家族や仲間と学習の場に参加する。 ▶個人や仲間と一緒に活動や講座へ参加する。</p>	<p>④教育機関と連携した福祉学習支援 教育委員会と連携し、子どもの思いやりや助け合いの心を育み、地域への愛着を深められるよう、学校等が行うボランティア活動や福祉教育の活動に対し、福祉情報の提供、活動内容の企画支援等を行います。</p> <p>⑤地区や町域での福祉学習や体験の場づくり 住民自身が地域課題と自分との関係性に気づき、地域のことへ関心がもてるよう、地区に出向いて福祉学習を支援します。また、町域での福祉講座やボランティア体験活動の機会を設けます。</p> <p>⑥福祉啓発活動の推進 住民自身が福祉を身近に感じてもらえるよう、福祉分野の各種講座や講演会、映画会等を開催します。また、そのような行事を通じ、住民の方々へ町内の福祉活動の紹介や活動への参画をはたらきかけます。</p>	<p>▲教育委員会や『はやしま学支援本部』と連携した福祉学習の支援</p> <p>○出前福祉講座の開講 ○夏のボランティア体験事業 ○福祉活動員制度の推進</p> <p>○福祉や介護講演会の開催 ○福祉映画会の開催</p>	<p>④ C 未進展</p> <p>⑤ A 進展</p> <p>⑥ B 一部進展</p>	<p>▶福祉教育の推進 早島小学校・中学校からの依頼に基づき、継続。平成 29 年度は、早島小学校（4 年生）と協働で、通年に渡り連携した福祉教育を実施。 ▶住民福祉活動先進地視察研修の開催 平成 26 年度から町内福祉関係者合同の研修会を継続定着（▶毎年 60 名程度が参加）。参加者が事後に新規や通常活動へ役立てる。 ▶学生や町民の体験や福祉学習の場の創出 主に『夏のボランティア体験』での学生向けの体験の場や『福祉活動員ミニ講座』を中心とした福祉学習の場を継続提供。平成 30 年度から新たに中学生向けの『ボランティアスクール』を開講。地区サロン等への『車イス体験』も開始。 ▶福祉のまちづくりフォーラムの開催 平成 27 年度から『ほっとプラン』内容周知や進捗状況報告と講演会を開催。 ▶福祉映画会の開催 障がい者福祉啓発を主目的とした映画会を、福祉全般のジャンルに拡大し継続開催（▶毎年 1 回）。福祉活動の情報提供を行う。</p>	<p>教育機関 社協</p> <p>福祉団体 社協</p> <p>社協</p> <p>福祉団体 社協</p> <p>福祉団体 社協</p>	
<p>福祉ボランティアの充実</p>  <p><住民や地域が行うこと> ▶活動の場を提供する。 ▶必要な人材を社協に伝える。</p>	<p>⑦ボランティア養成講座の開講や組織化の支援 生活支援や交流の場づくりの担い手等、福祉ニーズに対応できる各種ボランティアへの導入講座を行います。また、福祉ニーズに無理なく継続的に対応できるよう活動者の組織化を支援します。</p> <p>⑧ボランティア体験や活動の場の開拓 関係団体や機関と連携して、様々なボランティア活動ニーズの把握や活動を体験できる場を開拓します。また、ホームページや広報誌等によるボランティア募集の情報発信に努めます。</p> <p>⑨ボランティアセンターの機能強化と周知 ボランティアを希望したり求める個人や団体の登録やマッチングが円滑に行える体制づくりに取り組みます。また、ボランティア養成や活動費助成情報の提供と活用支援、ボランティア活動保険の取り扱い等のボランティアセンター業務の周知を行います。</p>	<p>▲各種ボランティア養成講座の開講</p> <p>▲活動受入へ向けた公民館、福祉団体、福祉施設、関係機関との連携強化</p> <p>●ボランティアセンター機能の強化と周知</p>	<p>⑦ A 進展</p> <p>⑧ C 未進展</p> <p>⑨ B 一部進展</p>	<p>▶ボランティア入門講座の開講 町受託事業として、平成 29 年度から健康増進や介護予防を目的とした『いきいきサポーター養成講座』を開講（平成 30 年度末で受託終了）。平成 31 年度は、各種ボランティア発掘に向けた『福祉有償運転者講習会』を『絵手紙体験教室』を開催。</p> <p>▶運転や生活支援ボランティアグループの組織化 移動困難者の外出支援や、高齢者や生活困窮者等の様々な生活支援を行うボランティアを組織化。平成 28 年 2 月「運転ボランティアくるりん」、平成 31 年 4 月「わが町の暮らしの応援団」をそれぞれ設立。町社協が事務局となる。</p> <p>▶ボランティアセンター機能の広報強化 福祉映画会等行事におけるボランティア募集継続周知に加え、平成 30 年度から同機能の社協だより掲載やチラシを作成。町広報誌折込による全戸配布を行う。 ▶ボランティア活動保険加入者数：H26-661 名→720 名 ▶ボランティア調整件数：H26-65 件→H30-301 件</p>	<p>行政 社協</p> <p>地域住民 社協</p> <p>社協</p>	